

**六島灯台100周年に合わせて
六島をもっとPRしよう！**

六島子どもYOUTUBERでもお世話になっている吉川寿人さんの提案で六島の全島民参加のポスターづくりの提案があり、協議会事業として猛暑の中撮影が行われました。

特徴は、島の人とその人の職業や趣味、人となり表現するコスチュームでそれぞれのグループが自己主張する画像となっています。上空よりのドローン撮影を倉敷の田中正敏さんにお願しました。単なる灯台100周年の告知に留まらず、島の人をイメージしていただき、一緒に島で活動する仲間を募集するものです。

このポスターについては、島出身者をはじめ市内企業団体のご協賛をいただいて制作しています。

なお、9月4日のインターン報告会の中で完成品が披露されますのでお楽しみに！



乞うご期待！

7月24日の撮影にあたり、吉川さんによる演技指導・衣装合わせを22日に実施。また、撮影場所の整備、物品搬入と皆様の多大なご協力をいただきました。



制作にあたりご協賛いただいた皆様

天野産業株式会社・笠岡商工会議所・NPO法人かさおか島づくり海社・NPO法人笠岡を元気にする会・笠岡市社協六島支部・岸本有希・小林明日香・有限会社三萬吉・島小屋・天理教六島分教会・中尾辰夫・流尾弥生・飛騨勝則・福井智一・細尾律雄・水川満幸・三宅一二三・山田美鈴（50音順敬称略）

六島灯台100周年事業概要



六島灯台は大正11年12月に設置され、現在2代目ですが今年設置100周年を迎えます。これを記念し、まちづくり協議会では各種機関と協力して記念事業を計画しています。

**六島恋する灯台week
2022年10月22日~30日
◎六島灯台内部公開**

10/22(土)・23(日)・29(土)・30(日)
4日間 ①10:30~12:30 ②14:30~16:30
灯台を一般開放します(協力：水島海上保安部)

◎恋する絶景カフェ

土日を中心に、六島の灯台・絶景空家等島の5カ所にカフェを設置し、くつろぎのスペースを演出します。

◎島丸ごと生活博物館

教員宿舎をメイン展示場として、灯台の写真や六島の生活を垣間見る写真展示を行います。

絶景のカフェとなる空家の改修実施



9月3日から前浦地区で絶景カフェの候補空家の整備が始まりました。

インターン生に負けじと前浦では空家の整備が始まりました。この物件はインターン生の宿舎にも使われたものですが、以後水回りが未整備で使用していなかったものです。瀬戸内の絶景を見ながらのカフェスペースとして活用します。

六島の燈

2022.9.4発行

六島まちづくり協議会

最新情報!



2022年夏インターン生報告会



明治大3年
中川達也さん

名桜大3年
原田安奈さん

8月16日から2022年夏の六島大学生インターンによる島おこし事業を展開し、その結果報告会を9月4日（日）午後2時30分から六島公民館で開催します。

今年は2名のインターン生を迎えて六島の教科書づくりの事業に取り組んでいます。

明治大学農学部3年の中川さんは東京都北区の都会っ子で大学のゼミの中で地域と関わることに興味を持って、将来は公務員を目指しています。もう一人の原田安奈さんは沖縄の名桜大学のスポーツ健康学科3年。出身は同じ笠岡諸島の「白石島」夏休みを利用して地域づくりの実践を積んで、卒業後は地元白石島に帰って頑張りたいという元気いっぱいの大学生です。

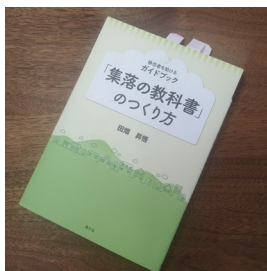
六島小学校は現在3年生1名の現状で、まちづくり協議会として、同級生を増やすための子供を持った世帯の移住促進・仕事として地域おこし協力隊の募集も合わせて行っています。

地域として移住者を迎える指針、移住者のガイドブックとして、「六島の教科書づくり」を令和4年雄事業に挙げて取り組んでいます。

インターン生2人は、移住者の立場で島の方々のインタビューを通じて、島のルールや移住の心構えなどの「六島の教科書づくり」の取り組みを進めています。

集落の教科書とは？

京都市南丹市のNPO法人テダスが進める「良いことも、そうでないことも、ちゃんと伝えたい」をコンセプトに、移住のための地域別ガイドブック。



協力隊の募集をはじめ移住促進の取り組みを進めるにあたり、移住者にとって必要な情報、地域のルールの再確認や島民図鑑など、島に住んでいる人の情報をまとめることにより、島民意識の向上により移住への拍車をかけるねらい。



8月16日まちづくり協議会役員と顔合わせの後に、滞在する宿舎に移動しインターンがスタート



8月25日（木）集落の教科書づくりの講師：田畑昇悟先生を迎えての研修会を実施し、作成の目的、ターゲット、内容についてのレクチャーの後にワークショップで意見を出し合いました。



インターン生2人は期間中、島の行事等に参加する傍ら、精力的に島人のインタビューを行って情報収集をすすめました。

9月4日（日）報告会スケジュール

- 12:00 応援ツアー出発（笠岡港）約10名
- 12:15 白石島寄港（10名）
- 13:00 六島湛江港着
湛江散策・島小屋（休憩）
前浦散策・六島浜醸造所・六島小
- 14:30 2022年夏六島インターン生報告会
（於：六島公民館）

イントロダクション

藤井智晴さん（六島コーディネーター）
（発表）中川達也さん・原田安奈さん
六島灯台100年記念ポスター発表
（吉川氏・ZOOMにて発表）
六島灯台100周年事業について

- 16:00 意見交換・交流
- 17:00 終了予定
- 17:30 六島前浦港発・・・白石島・・・笠岡港18:15



2022夏六島インターン報告会

一緒に楽しいことしませんか？

2022年夏、六島では2年ぶりにインターン生2名を迎えて20日間のまちづくり協議会サポート事業を行っていただきました。

参加したのは、中川達也さん（明治大学3年・東京都在住）と原田安奈さん（名桜大3年・沖縄県在住）の2人。原田安奈さんの出身は地元笠岡諸島「白石島」。

2人は8月16日から20日間のインターン生として、今年まちづくり協議会が取り組んでいる、移住者のためのガイドブック「六島の教科書づくり」のサポートをしていただきました。

9月4日（日）に最終報告会を公民館で開催し、教科書づくりの現状と、それぞれが感じた六島の魅力についてのプレゼンでした。



また、当日は「応援ツアー」も組まれて、安奈さんの出身の白石島から公民館長さんをはじめ、後輩たち、ご両親など12名、笠岡からも12名の方々の参加をいただき、かなり密な報告会となりました。今年度、まちづくり協議会でのインターンシップの予算化は出来てなかったのですが、地域活動の勉強ということでも、自費での参加で、島の方々の物心のサポートもありやり切った感のある報告でした。

子育て世代の移住を促進するために、職としての「地域おこし協力隊」、移住を検討するためのガイドブックが「六島の教科書」、もっと六島を知ってもらうために「灯台100周年」に合わせて実施するイベントを企画しています。今回のインターン生の発表からもっと六島自体の魅力を伝えないと移住先として知ってもらえないのでは・・・。こんないい島、いい人達なのだという想いを凄く感じる事が出来ました。

今回の報告会に合わせて、7月24日に島民皆で作りに上げた「六島灯台100周年記念ポスター」の披露を吉川さんからZOOMを通じてしていただきました。「一緒に楽しいことしませんか？」というキャッチと皆んなのそれぞれの役者ぶりの写真。島民が自ら島暮らしを楽しみ感じ、発信することで新たな仲間をどんどん増やしたいものです。お二人ともご苦労様でした。今後の人生の中でこの六島の経験が何かの役に立てば幸いです。

